

コダック 合同会社
エンタテインメント イメージング本部

2026 年 5 月

EI-2607

コダックフィルムで撮影された 7 作品が 2026 年カンヌ国際映画祭コンペティション部門に選出

米国ニューヨーク州ロチェスター、2026 年 5 月 12 日発：

コダックのモーションピクチャー&エンタテインメント部門は、今年のカンヌ国際映画祭に正式招待された 20 本のフィルム撮影作品を祝福します。そのうち 7 作品がコンペティション部門に選出されており、ロドリゴ・ソロゴジェン監督の『El Ser Querido (The Beloved)』、マリー・クロイツァー監督の『Gentle Monster』、ネメシュ・ラースロー監督の『Moulin』、ハビエル・アンブロッシ&ハビエル・カルボ監督の『La Bola Negra (The Black Ball)』、ジェームズ・グレイ監督の『Paper Tiger』、是枝裕和監督の『箱の中の羊』、アイラ・サックス監督の『The Man I Love』がその対象です。また、フィルム撮影作品 3 本が「ある視点」部門に、さらに 10 本が「監督週間」および「批評家週間」に出品されます。

イーストマン・コダック社のモーションピクチャー&エンタテインメント部門責任者、ヴァネッサ・ベンデッティは次のように述べています。

「今年もカンヌでフィルム撮影作品がこれほど力強く存在感を示しているのは、本当に励みになります。映画祭で上映されるフィルム撮影の 20 作品のうち、12 本は 35mm で、8 本は 16mm で撮影されており、その中にはジョーダン・ファーストマン監督の『Club Kid』（撮影：アダム・ニューポート＝ベラ）を含む 3 本の長編デビュー作も含まれています。また、今年のアワードシーズンに『ワン・バトル・アフター・アナザー』、『罪人たち』、『センチメンタル・バリュー』といったフィルム撮影作品が相次いで成功を取めたことに続き、カンヌのコンペティション部門に 7 作品が選出されたことは、フィルムで撮ることが作品を際立たせるという事実を改めて力強く示しています。コダックは、映画祭に選出されたすべての映画作家の皆さまに心よりお祝いを申し上げます。皆さまの芸術的なビジョンを実現するお手伝いができることを大変光栄に思います」

5 月 12 日～23 日に開催されるカンヌ国際映画祭オフィシャルセレクションのコダックフィルム撮影作品は以下のとおりです。(敬称略)

Motion Picture and Entertainment

コンペティション部門

『El Ser Querido (The Beloved)』 (原題) 35mm (デジタル併用)

監督：ロドリゴ・ソロゴジェン、撮影監督：アレハンドロ・デ・パブロ

『The Man I Love』 (原題) 35mm

監督：アイラ・サックス、撮影監督：ジョゼ・デエー

『Moulin』 (原題) 35mm

監督：ネメシュ・ラースロー、撮影監督：エルデーイ・マーチャーシュ

『Gentle Monster』 (原題) 35mm

監督：マリー・クロイツァー、撮影監督：ジュディス・カウフマン

『箱の中の羊』 35mm (デジタル併用)

監督：是枝裕和、撮影監督：近藤龍人

『La Bola Negra (The Black Ball)』 (原題) 35mm

監督：エル・アンブロッシ&ハビエル・カルボ、撮影監督：グリス・ジョーダナ

『Paper Tiger』 (原題) 35mm

監督：ジェームズ・グレイ、撮影監督：ホアキン・バカ＝アセイ

ある視点部門

『Club Kid』 (原題) 35mm ※初監督作品

監督：ジョーダン・ファーストマン、撮影監督：アダム・ニューポート＝ベラ

『Teenage Sex and Death at Camp Miasma』 (原題) 35mm

監督：ジェーン・シェーンブルン、撮影監督：エリック・ユエ

『すべて真夜中の恋人たち』 16mm

監督：岨手由貴子、撮影監督：佐々木靖之

カンヌ・プレミア

『Mariage au goût d'orange』 (原題) 35mm

監督：クリストフ・オノレ、撮影監督：ジャンヌ・ラポワリー

国際批評家週間 — コンペティション

『Six Months in a Pink and Blue Building』 (原題) 16mm

監督：ブルーノ・サンタマリア・ラソ、撮影監督：フェルナンド・エルナンデス・ガルシア

国際批評家週間 — 特別上映

『Adieu monde cruel』 (原題) 16mm ※クロージング作品

Motion Picture and Entertainment

監督：フェリックス・ドゥ・ジヴリ、撮影監督：タラ＝ジェイ・バンガルテル

ショートフィルム

『Skinny Bottines』 16mm

監督：ロマン・F・デュボワ、撮影監督：メナド・ケスラウイ

『Waterland』 16mm

監督：ベルトルト・ワジュディ、撮影監督：ノア・ベーム

監督週間 – 長編コンペティション

『Atonement』 (原題) 16mm ※初監督作品

監督：リード・ヴァン・ダイク、撮影監督：ジョン・ピーター

『Clarissa』 (原題) 35mm

監督：アリエ・エシリ&チュコ・エシリ、撮影監督：ジョナサン・ブルーム

『La Libertad Doble (Double Freedom)』 (原題) 35mm

監督：リサンドロ・アロンソ、撮影監督：コビ・ミリョーラ

『I See Buildings Fall Like Lightning』 (原題) 16mm (デジタル併用)

監督：クリオ・バーナード、撮影監督：サイモン・ティンダル

『Lave forventninger (Low Expectations)』 (原題) 16mm

監督：エイヴィン・ランズヴィク、撮影監督：アンドレアス・ビョルセス

###

【コダックについて】

コダック (NYSE: KODK) は、商業印刷ならびに先端材料、化学薬品分野に特化した世界的な大手メーカーです。130年以上におよぶ研究開発で 79,000 の特許を取得しており、世界が見たり創造したりするものを強化するテクノロジーとサイエンスの力を信じています。当社の革新的で受賞歴のある製品は、お客様第一のアプローチとの融合により、世界中の商業印刷会社のパートナーとして選ばれています。コダックは、持続可能な印刷ソリューションの開発において業界をリードするなど、環境への配慮に取り組んでいます。コダックの詳細については、Kodak.com にアクセスしてください。



【本件に関するお問い合わせは下記へお願い致します】

カスタマーサービス セクション
TEL: 050-3819-1470
E-mail: motionjp@kodak.com